



調査レポート「ビジネスパーソン 6,000 人に聞く DX の実態」

～日経 ID 会員対象、取り組み状況明らかに
～「戦略作成」23%、「営業 DX」18%にとどまる

2021 年 11 月 15 日
株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：福本 敏彦、以下 日経リサーチ）では、緊急事態宣言解除直前の 9 月に、現在の企業課題や DX の取り組み実態を明らかにする調査を行いました。

この調査は、日本経済新聞社のサービス登録者などで構成される日経 ID 会員を対象に実施しました。様々な業種・職種・役職・企業規模のビジネスパーソンにアプローチできる日経 ID の特長を生かし、企業属性ごとの企業課題や DX 推進の実態を明らかにしております。

■主なトピックス

- ・業務プロセス・スピードの変革など、生産性向上は依然として日本企業の課題の中心
- ・企業規模で DX 認知に大きな差。従業員 1 万人以上の企業では 8 割超すも、100 人未満の企業では 5 割台
- ・DX 戦略策定中。業務 DX や営業 DX などの実行施策は、またこれから

※詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.nikkei-r.co.jp/column/id=8200>

■調査概要

- ・調査対象者：日経 ID 会員（お勤めの方）
- ・調査時期：2021 年 9 月 9 日(木)～13 日(月)
- ・有効回答数：6,763 サンプル
- ・調査名：With コロナ時代のビジネス課題調査
- ・調査方法：インターネット調査

■日経 ID リサーチサービスの特長

1. 役職者や意思決定層を含めてあらゆるビジネスパーソンにアプローチが可能

日経 ID 会員には企業・組織の役職者や意思決定者から現場の各分野のスペシャリストまで、幅広いビジネスパーソンが登録しています。例えば一定以上の高い役職につく人たちや、特定の製品・サービスについての意思決定層など、一般の調査モニターでは数の確保が難しい対象者につ



いても、回答を集めることが可能です。

2. ”気づき”につながるフィードバックに富む回答を収集可能

日経 ID 会員は情報感度の高い層、学びに積極的で、仕事への課題意識が高い層が中心です。そのため特に定性的な回答（自由記述コメント）では、フィードバック力の高い”気づき”につながる回答の収集が期待できます。

※詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.nikkei-r.co.jp/service/btob/nikkeiid/>

会社概要

会 社 名：株式会社 日経リサーチ

住 所：東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号 鎌倉河岸ビル

代 表 者：代表取締役社長 福本敏彦

事業内容：顧客満足度（CS）調査や、ブランド調査、デジタルマーケティングなど各種市場調査を国内外で幅広く展開しています。また、定期的を実施する世論調査や企業調査の結果は日本経済新聞などの媒体に多く掲載されています。

U R L：<https://www.nikkei-r.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

ソリューション本部営業企画部 担当：加藤、山下

お問い合わせフォーム：

https://www.nikkei-r.co.jp/contact_nkr/

TEL: 0120-980-181(平日 9:00～12:30、13:30～17:30)